

口 頭 電 話 記 録 簿

相手方		区 分	電 話
神奈川県座間市市民活動サポートセンター 黒沢さん 座間安全・安心推進会 会長 小林 寛さん		接 受 時 日 時	令和 7 年 8 月 25 日 (月)
			10 : 25 ~ 11 : 16 頃
		接受者	農政課長 田中洋介
件名	ナラ枯れ対策（ペットボトルトラップ）について		
内 容	ネットニュース（タウンニュース神奈川県全域・東京多摩地域の地域情報紙）の記事について問い合わせた。 ○市民活動サポートセンター 黒沢さん ・市民団体「座間安全・安心推進会」の小林さんが熱心に取り組んでいるので直接聞いてほしい。 ・座間市は面積が狭く（10 ㎢程度）山林等はない。 ・ナラ枯れは公有地や民有地のお客さんが集う箇所に発生した。 ・発生期間は 2017 年（平成 29 年）から 2025 年（令和 7 年）。 ○座間安全・安心推進会 会長 小林さん ・行政は公有地のナラ枯れの樹幹注入をしていたが、予算のわりに効果少なく税金の活用方法に疑問を感じ、議会でも取り上げられ活動を始めた。 ・ペットボトルトラップを自分で考案し、4～5 年前から開始。 ・市民団体が木を守るボランティア活動である。 ・神奈川県のカシノナガキクイムシのフェロモンマニュアルに掲載された。 ・廃ペットボトルのみ使用し薬剤等は使わない。 ・木 1 本あたりペットボトル 70 個使用。 ・雨対策として、ペットボトルにスリットを入れる。 ・カシノナガキクイムシのフェロモンを利用している。 ・設置箇所は、市管理の公園や県有施設、民有地。 ・ペットボトルは市役所やマンション等から集めた。 ・ナラ枯れは、今年、令和 7 年に終息した。 ・カシノナガキクイムシは太平洋高気圧の右回りの風によって移動している。 ・果樹を食い荒らす「クビアカツヤカミキリ」の駆除のために群馬県でも活動している。 ・カエントケも生えており、子どもに何かあるといけないので駆除している。 Q：白馬村は山林のナラ枯れ被害多いが、対策のアドバイスお願いしたい。 A：公共施設の対策は、もちろんだが、登山道付近やキャンプ場の安全対策が重要。施設管理者はナラ枯れに対する知識が必要。ナラ枯れの原因として、昔、ナラはエネルギーとして利用されていたが、化石燃料になり伐採しなくなったことや温暖化も考えられる。カシノナガキクイムシはナラ枯れが発症していないナラにも侵入するので、ドングリが不作になり、クマ出没の要因にもなる。クビアカもそうだが、要はすべてに関係していると考えている。		

